

令和6年度 第5回 牛津高等学校 学校魅力強化委員会（学校運営協議会）議事録

「佐賀県立学校における学校運営協議会の運営に関する要綱」第8条第2項に基づき、次のとおり、第5回学校魅力強化委員会（学校運営協議会）の会議録を公表します。

開催日 令和6年12月16日（月） 於 牛津高等学校テーブルコーディネート室
開催時間 17:00～18:20
出席者数 委員8名 事務局3名 SAGA コラボ校内委員2名
出席者 <魅力強化委員>
長戸委員 横尾委員、七浦委員、大坪委員、ドジソン委員、金森委員、嘉村委員、
山本委員、江頭委員（校長）
<事務局>
鍋島（教頭）、古川（事務長）、池田（主幹教諭）
<SAGA コラボ校内委員>
中尾（服飾デザイン科主任）中島（魅力化コーディネーター）

【会議の内容】

- 1 開会
- 2 学校長挨拶
- 3 協議

（1） 来年度以降の魅力化事業について

令和7年度魅力強化事業実施計画（案）について主幹教諭から説明。SAGA コラボレーション・スクールの事業は今年度で終了。来年度以降は予算措置があるかどうか未定だが、魅力化の取組は継続して行っていく予定。

（委員1） SAGA コラボレーション・スクールは今年で終わりで、来年度はどうなるかわからないということであったが、来年度、県の事業の指定を受けるという前提で考えているのか。

（主 幹） 来年度は、どのようになるかははっきりとは言われていないが、指定を受けるという前提で考えている。まだ、何もわからないが、県で同じような魅力化事業を考えられており、2月の議会で決まると聞いている。

（校 長） 小城市、西九州大学、小城高校との四者の包括連携では、いろいろなことが形になってきている。

（委員2） 小城市としても、まだ予算は通っていないが、来年度地域おこし協力隊を教育分野で導入を予定している。牛津高校だけでなく包括連携を結んでいる西九州大学、小城高校とのコーディネータ的な活用を検討している。

（委員3） 今、小城市には地域おこし協力隊は何人いるのか。

（委員2） 現在は2人、これとは別に教育分野で新たに募集をする予定。

（委員1） 全国募集では、これから下宿とかの確保や市との連携とかを行っていくのか。

（主 幹） 全国募集については、令和9年度入試に向けて、令和8年度に募集活動を行うことになる。全国募集に参画できるかどうかは、来年度の活動が重要になってくる。

（委員1） 再来年には募集活動をするのであれば、来年度中に体制を作っていなければならない。

（委員4） 佐賀県がSSP構想で宿舎を作っているが、そこは利用できないのか。

（主 幹） アスリート寮は、運動部活動の生徒でいっぱいだと聞いている。競技団体で人数枠が決まっ

ており、全国募集の生徒が入るのは難しいと思う。

(委員4) 私立高校とか寮を持っているところで空きがあれば入れないものか。この地域に下宿という風習はない。

(主 幹) 最近では下宿とは言わずに、ホームステイ型の下宿と言っている。

(委員4) 現実的なものとしては、アパートとか戸建ての空き部屋に生徒が住み、そこに三食や二食を提供するというのがいいのでは。

(主 幹) 生活のサポートをしていただける方がいればそれが一番いいが。

(委員4) 生活するためには、冷蔵庫や洗濯機とか電子レンジなども用意しなければならない。これは大変なことである。募集をして来る人がいればいいが、他の学校はどのようにしているのか。

(主 幹) 先月、武雄高校が遠隔地からの通学が困難な生徒向けの下宿の募集を始めている。どれくらい応募があっているかはわからない。

(委員4) 太良高校に寮があるのではないか。

(委員3) 太良高校は野球関係の寮だったと思う。

令和7年度魅力強化事業実施計画(案)について、承認

(2) 服飾デザイン科の魅力強化について(熟議)

服飾デザイン科の現状について主幹教諭から報告。さらに協議資料(教育課程表、パンフレット、魅力評価アンケート結果)の説明。

(委員3) 服飾デザイン科に男子の枠とかはあるのか、男子生徒はどれくらいいるのか。また、服飾デザイン科は、「服飾」と「デザイン」とあるが、佐賀大学地域デザイン学部のようにデザインに特化して興味・関心を集めているところもある。「デザイン」についてどのようにとらえているのか。

(主 幹) 現在、男子の枠を設けての募集はしていない。男子生徒は3年生に3名、2年生に1名の計4名である。

(服飾デザイン学科主任) 男子の入学者は令和元年入学者が1人、令和2年、令和3年は0人、令和4年は3人、令和5年1人、令和6年0人となっている。

(委員3) 受検者の男子の数はどうなっているか

(服飾デザイン科主任) 入学者と受験者の男子の数はほぼ同じである。

(委員3) 全体的に男子は希望しないようだ。

(委員5) 服飾という名前がついているので、裁縫というイメージがあり、あまり男子が希望しないのでは。

(委員3) 一般的にデザイナーは男性が多いようだが。

(主 幹) 先日のファッションショーに男子の中学生が2名見に来ていたので、男子の希望もある。

(服飾デザイン科主任) これまで男子が0人という年はあまりなかったが、たくさん入っているということもなかった。

(委員3) 就職で男子が有利だとかあるのか。女子ばかりのところで、デザイン系に進む男子もいるのか。

(服飾デザイン科主任) 男子は美容師希望が多い。今年の3人の男子のうち2人は美容師希望である。

(委員3) 服飾というのがマストになるのか。デザイン学科とか特化するとかできないのか。

(校 長) 家庭科のなかでデザインに特化したことは聞いたことがない。

(委員3) 他の学科ではあるのか

- (校長) 工業高校や普通科の中のデザインコースなどはある。
- (委員4) これから服飾系は厳しいと思う。そこで、就職先で全国的に有名な企業に就けることをアピールしていくとか、ファッションショーや服飾系の勉強をしてモデルを目指すとか、特色のあることを見つけないといけないのでは。
- (委員3) 就職先は先生方が探してくるのか。
- (主幹) 学校の進路指導部で開拓したり、生徒の希望があれば求人票を出してもらったりしている。服飾デザイン科は、就職と進学が半分ずつで、進学は専門学校が多い。
- (校長) 来年、服飾デザイン科の卒業生が教育実習に文化学園大学と九州女子大学から2人来る。東京の文化服装学院と文化学園大学で卒業生の話聞いたが、高校で縫製とかデザインについてしっかり勉強ができているので、すぐにリーダー的な存在になっているそうだ。文化服装学院では先生の助手として活躍している。高校を卒業して専門学校や大学で力をつけて有名な企業に就職をする生徒もいる。
- (委員1) 専門学校や大学を卒業してからの進路を調べてみた方がいい。おもしろい進路先が見つかる。結婚式、ブライダル関係の就職をしている卒業生も多いのでは。
- (委員4) 服飾系の就職は、給与面で百貨店やブランド店は、まだいいが、小さい店は厳しくて、辞める人が多い。美容関係の方がまだいいのではないかな。ファッションや服飾のカリキュラムは法的に決まったものがあるのか。
- (校長) 標準単位は科目によって決まっているが、佐賀錦とか学校独自のものもある。
- (委員3) 服飾系の高校は、牛津高校だけか。
- (校長) 福岡の香椎高校などがある。学科としてあるのは少ない。家庭科の中で服飾系があるのは、佐賀と福岡、熊本、鹿児島くらい。沖縄は工業高校の中にある。佐賀女子高は普通科の中のコースにある。
- (委員4) 特色を出すのに靴職人とかどうか。
- (校長) 以前服飾デザイン科で、同じようなことを話し合ったことがある。革製品など職人を養成など。
- (委員4) 状況を打開するには、全国でもここだけにしかないという何かに特化しなければならない。
- (委員1) 服飾デザインという名前が固いのでは。何をするのか思いつかない。ファッションデザインとか授業であるけれど。
- (委員4) ハンドメイドとか、洋服ではなく革の財布を作るとか、佐賀錦などを作っている授業もある。
- (委員3) 佐賀錦はいい。名刺入れとかはとてもいい。
- (委員4) ファッションショーでもあったが草木染もよかった。
- (委員3) 服を作る際に、バーチャルとかデジタル化はどのようになっているのか。衣装のデザインとか授業でデジタルは使っているのか。
- (服飾デザイン科主任) アパレルの方もデジタル化が進んでいる。服のサンプルとかも。昔は実際に工場で作っていたが今は3Dで作らなくてもよくなっている。サンプルはバーチャルになっている。高校にそのシステムを導入するのは難しい。
- (委員3) 手縫いもしないし、デザインもすべてコンピュータで、型紙もいらなくなっている。
- (委員4) 服をコーディネートするような授業はあるのか。
- (服飾デザイン科主任) 作ったものに合わせて、テーマを決めて着装を考えるような授業は行っている。

- (委員5) ファッションを3年間学んでいるが、パンフレットの写真だけではわからない面白い授業がたくさんある。そこで2、3分の動画をつくってインスタグラムで発信をすれば、学科の楽しさが伝わるはず。例えば、美容や服飾に進むうえでも役に立つ色彩の勉強をする授業や、服を作るだけでなく着物の着付けも学べるというのを発信すれば、中学生にも楽しさが伝わると思う。写真や文字だけでは伝わらないこともある。
- (委員4) ファッションショーもいい宣伝になる。参加した生徒たちも自信がつくと思う。
- (委員5) 他人のサイズを測って服を仕立てるのは簡単だけど。自分のサイズを測って、それに合わせて自分で作るのは本当に大変だったと思う。他に、女兒服を作って小さな子どもたちを呼んでファッションショーを開いたりすれば子どもたちも喜ぶはず。また、モデルを呼んできて、作った服をモデルさんに来てもらい歩いてもらうというプロデュースするのも面白そう。高校生だったら友達を連れてきて服を作ってあげることもできると思う。
- (委員3) 小学生の将来なりたい職業の中にモデルというのが一定数いた。
- (委員6) ファッションショーでもウォーキングの練習をかなりされていたと思う。メイクとかも。
- (主 幹) 広報の仕方には改善が必要だと思う。今後工夫していきたい。
- (委員1) みせ方を工夫すれば、かなり変わってくるはず。動画を使うのは効果的だ。
- (委員4) 動画はやはりファッションショー。服飾デザイン科の集大成だから。
- (委員6) 今年のファッションショーをみて、男子もいるんだと思った。
- (委員1) 男子の志望者を増やすというのもいいと思う。美容師やデザイナーとか一定数の希望者はいるはず。
- (委員4) 美容師希望とかターゲットを絞った方がいいかもしれない。

(3) 令和6年度取組の状況報告

令和6年度の地域連携取組について主幹教諭から報告。

(4) 文化祭実施報告

令和6年11月10日、11日に実施した文化祭について主幹教諭から、内容や感想を報告。

(5) SAGA コラボレーション・スクール成果発表会について

牛津高校の取組について主幹教諭が発表。(12月23日にSAGA コラボレーション・スクール成果発表会の分科会で発表する内容)

4 閉会

諸連絡で、第6回の魅力強化委員会は2月下旬を予定していること、交通費の算定のための調査票の記入について連絡があった。